

平成 28 年 6 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ティー・ワイ・オー
代 表 者 名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者
吉田 博昭
(コード番号：4358)
問 い 合 せ 先 常務取締役 経営戦略本部長 上窪 弘晃
電 話 番 号 03-5434-1586

新規事業（PR事業）の開始に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 6 月 10 日開催の取締役会において、新規事業（PR事業）を開始することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社グループでは、あらゆる広告コンテンツの戦略立案・企画・制作を行っており、中期経営計画（※1）に基づき成長を加速させるため、幅広い市場（※2）を対象としてM&A、業務提携・資本提携等による事業領域の拡大を検討してまいりました。

当社グループの成長分野である国内における広告主直接取引では、10年以上にわたり実績・ノウハウを蓄積し、近年では大手企業を含むクライアントからの媒体を跨いだ一括受注案件の増加、受注規模の拡大等により、収益は順調に推移しております。

しかしながら、クライアントからの引き合いが多いPR業務の機能を当社グループ内に保持していなかったため、従来、PR業務については外部委託による対応が中心となっております。

また、2014年の国内PR業売上は948億円であり、イベントやWEB、リスクコンサルティング等のPR関連事業を含めた2014年の国内PR市場は推計4,351億円に達する広大な市場規模となっております（※3）。さらに、インターネットやスマートフォンの普及、媒体の多様化に伴い、国内のPR市場規模は年々拡大傾向にあります。

このため、当社グループの事業規模の拡大及び収益性向上の実現には、PR業務は不可欠な機能であると認識し、PR分野への進出を重要な経営施策の一つとして位置付け、入念に検討を進めてまいりました。

その結果、当社グループ内においてPR事業を開始し、独自のサービスを確立・展開することが、最も有効な手段であると判断し、PR業界屈指の人材を核としてPR事業を開始することを決定いたしました。PR事業の開始により、当社グループが有するクリエイティブ・エージェンシーとしてのコンテンツ創造力と、コミュニケーションサービスであるPR事業を融合し、顧客視点に立脚したサービス体制を構築することで、圧倒的な競争優位の確立を実現し、クライアント企業のみならず様々なステークホルダーに対しても新たな価値を提供することが可能になると考えております。なお、当該事業においては、中期的に売上高30億円、営業利益3億円程度（営業利益率10%）を目指してまいります。

- ※1 詳細については、平成 25 年 9 月 12 日に発表した「TYO グループ中期経営計画 2013」及び平成 27 年 9 月 11 日に発表した『TYO グループ中期経営計画 2013』の進捗と今後の展開(2015)」をご覧ください。
- ※2 従来のTV-CM制作、WEB制作に加えて、PR、グラフィック、イベント、プロモーションメディア、マーケティングリサーチ、セールスプロモーション、ブランド・コンサルティング、店舗開発等、あらゆる広告制作市場を指します。
- ※3 日本パブリックリレーションズ協会資料によります。

2. 事業の概要

(1) 事業の内容

広報コンサルティング関連業務、メディアリレーションズ関連業務、危機管理広報関連業務、ステークホルダー向け業務、その他派生業務等のPRサービスなど、メディア視点を軸としたマルチタッチポイントでのソリューション提供および、各分野の専門集団との協業による有効性の高いソリューションを提供。

(2) 当該事業を担当する部門

PR業務の実績・経験が豊富なメンバーを中心として、PR事業を担当いたします。事業開始から1年間で総勢20名体制まで拡大することを計画しております。

(3) 新たな事業のために特別に支出する予定額の合計額

PR市場における事業ポジションの早期確立及び事業成長の加速に向け、事業インフラ構築のための積極的な投資活動を行う予定です。詳細については決定次第、改めてお知らせいたします。

3. 日程

| | |
|------------|-------------------|
| (1) 取締役会決議 | 平成 28 年 6 月 10 日 |
| (2) 事業開始時期 | 平成 28 年 10 月 (予定) |

4. 今後の見通し

当期(平成 28 年 7 月期)は本格的な事業展開のための準備期間と位置付けており、本件による当期の連結業績への影響については軽微であると考えておりますが、中長期的には当社グループの主軸事業の一つとして成長することを見込んでおります。

事業紹介・PR 案件に関するお問い合わせ先 は下記 URL をご参照ください。

<https://group.tyo.jp/pr/>

以上

PR事業の開始について



株式会社ティー・ワイ・オー

2016年6月10日

PR事業：進出の狙い ① - 事業領域の拡大 -

クリエイティブエージェンシー

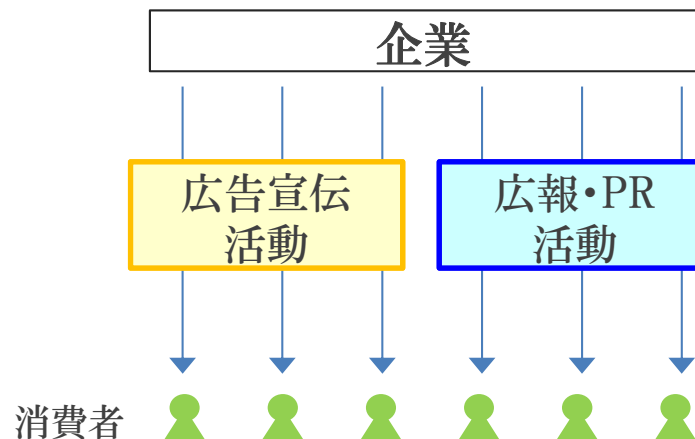
+

PRエージェンシー

クリエイティブ・エージェンシーとして広告事業に特化してきたTYOグループに、
広報サービス機能およびPRエージェンシー機能を付加



広告、広報全般のコミュニケーション領域を
ワンストップで包括提供



TYO
group of Tokyo

ワンストップ 且つ 統合されたサービスを提供

- 企業が伝えるべきメッセージを、映像等の広告を通じた世界観に加え、ファクトベースでの報道(PR)として伝えることで、適正かつ効果的にターゲットへの訴求を実現

PR事業：進出の狙い ② - サービスの拡充 -

広告制作機能

×

PRサービス機能

クリエイティブエージェンシーとしての総合的な広告制作機能と、
PRエージェンシーとしての幅広い広報サービス機能を融合



クライアントに最適なコミュニケーションサービスを提供

広告制作
機能

- TV-CM
- Web
- オンライン動画
- イベント
- セールスプロモーション
- グラフィック
- OOH

×

広報
サービス
機能

- パブリシティ
- 広報コンサルティング
- メディアリレーション
- メディアアップ
- IR
- クライシス対応
- PRイベント

企業やサービスの認知度向上、イメージの向上、
販売促進や集客拡大など多岐におよぶクライアントのニーズに応じて、
報道機関やインターネットなど多様なメディアを媒介とし、
企業の目的達成をサポートするPR、広報関連サービスを提供

コンサルティング関連業務

- 広報活動/PR活動全般のコンサルティング
- 報道関連調査および分析
- 広報関連全般のプランニング
- メディアトレーニング
- 各種イシューマネジメント 等

メディアリレーションズ関連業務

- プレスリリース、ニュースレター作成、配信
- パブリシティ活動全般
- PRイベントの企画、運営
- モニタリング、クリッピング
- メディアタイアップ 等

危機管理広報関連業務

- リスクマネジメント全般
- クライシストレニングの企画、実施
- クライシス発生時の広報対応
- クライシスセミナーの実施
- リスク対応マニュアルの作成 等

ステークホルダー向け等派生業務

- 社内コミュニケーション
- ブランディング
- デジタルPR
- インフルエンサー対応
- パブリックアフェアーズ/IR 等

PR事業：展開イメージ

| | Phase 1 【インフラ構築期】 | Phase 2 【サービス拡充期】 | Phase 3 【事業展開期】 |
|------|--|---|--|
| 【施策】 | <ul style="list-style-type: none"> 人材投資 初期顧客開拓 | <ul style="list-style-type: none"> サービスパッケージ開発 外部企業との関係構築 | <ul style="list-style-type: none"> M&Aによるインフラ拡大 海外アライアンスの強化 |
| 【人員】 | <ul style="list-style-type: none"> 20名体制 <p>PR事業の実績・経験が豊富なメンバーを中心に立ち上げ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 50名体制 | <ul style="list-style-type: none"> 100名体制 |
| 【規模】 | <ul style="list-style-type: none"> 売上高 2億円 | <ul style="list-style-type: none"> 売上高 15億円 | <ul style="list-style-type: none"> 売上高 30億円 営業利益 3億円 |